



特戸割決定の市會

助役収入役の推薦

青沼市長の肚は果して誰か

一般觀測では現狀維持

特別戸割決定の平市會は既 収入役の推薦は一般から現狀 報の如く来る十日午前十時か 維持と觀測され居るも一部に 招集することになつたが今 是れは入れ替へを傳ふる向もあり 年度の同賦課總額は九萬八千 二百三圓で前期分四萬九千九 一圓五十錢は豫定された賦課 戸數五千四百十戸より百三十 六戸を増加する五千五百四十 六戸となつたので一戸平均十 七圓七十錢に當り前年度の十 七圓六十錢に比し七錢増で ある向は同市會には左記の諸 案も附議される筈で助役及び

臨時補給金の交付で

平市の後期特戸半額 雜種稅改廢は臨時縣會後だが

この減收は一萬圓位か

地方財政を援くる一般補助金 十二年度の市(人口五万以下) その他であつて此の種の課稅 町村臨時補給金は石城郡に廿 二萬六千七百七十二圓の割當額 を決し近く交付の筈であるが 右は縣雜種稅の改廢による減 收を補填した餘剩の分は特別 戶數割の緩和に向けられる もので右雜種稅の中廢止か 減額が指點されるものは 小車 人力車 客馬車 水 車 市場稅 牛馬稅 屠畜 稅 遊歩(魚釣の如き)に對 するもの 代書業 遊藝師 匠 遊藝人 角力俳優 盤

日刊 日刊 日刊 日刊 日刊
日刊 日刊 日刊 日刊 日刊
日刊 日刊 日刊 日刊 日刊

座講識常

ムージング・ピクチュアは活動寫眞のこと ムービーは動くピクチュアは繪畫、それで映畫 狂のことをムーヴィーフアンと稱し映畫館のことをもムージング・ホールとも呼んでゐる。

農事實行の 組合長會

時局に關する 勞力の協働で 縣農會主催の石城郡下農事實行組合長會は来る十三日午前九時から平市團體事務所樓上に於て開かれるが協働は時局に關する農事實行の進歩等に當る農業者の進歩等に當る協働の打合せの由

應用化學科臨時生 會津工校の六月卒

來る廿三日締切で三十五名 資格は中等校卒業程度

軍籍の有無で 毆打傷害

長倉坑の坑夫 石城郡磐崎村の湯長谷第二署 炭長倉坑夫藤原上三谷村 三谷字西宅生れ前科二犯田 澤信(元)は去る四日午後五時

同坑寮に於て同村上湯長谷の谷健治(元)に對し前回は 藉に關係あるかと尋ね無くと云はれるや俺は兵隊に關係は

各方部の慰問獻金

赤井第二女青の同獻金募集

平市の平陽女學校生徒が最近 數日間市内の街頭獻金募集に 奉仕し得たる金額百四十四圓 二十八錢をまた石城郡赤井村 第二女子青年會では去る四 五兩日に互る赤井嶽藥師祭に 於て總動員の街頭義金募集を 行ひ參詣者から得たる金額五 十五圓五十錢を何れも支那事 變に奮戦する皇軍慰問費に贈 られるやう昨六日平署に寄託 した

本市の下半青年會では諏訪 神社の獅子に於て集まつた 義金十三圓四錢を會長矢吹喜 一氏の代表で市の軍事後援會 へ寄附した、又市内平署の通 照部支部小野地徳太郎、小幡 幸三、川崎さく、鈴木よねさ ん四名は金四圓を皇軍慰問費 にと昨六日平署に寄託した

小間物行商井上信太郎方へ此 程夕刻持病が起きて苦しい からと一夜の宿を請ふて泊つ た田村郡要田村大字荒和和字 二の宮一五一遠藤きの(元)は 翌朝未明家人が熟睡してゐる のを窺ひ現金二十圓と羽織の

女白波

石城郡好間村の下好間字大館 宿を乞ふ

平市の條例規則

(3)市消防組給與規則 (完)

組頭及小頭	品目	保存期限	品目	保存期限
組頭	刺子法被	七ヶ年	刺子法被	七ヶ年
小頭	刺子頭巾	七ヶ年	刺子頭巾	七ヶ年
	冬服	七ヶ年	冬服	七ヶ年
	夏服	三ヶ年	夏服	三ヶ年
	法被	七ヶ年	法被	七ヶ年
	股引	七ヶ年	股引	七ヶ年
	短靴	五ヶ年	短靴	五ヶ年
	帽子	五ヶ年	帽子	五ヶ年
	法被	五ヶ年	法被	五ヶ年
	股引	五ヶ年	股引	五ヶ年
	消脚絆	七ヶ年	消脚絆	七ヶ年

職名	弔祭料	廢疾扶助料	救 助 料
組頭	三十圓以上	百五十圓以上	一日金五十圓以上
小頭	廿圓以上	百圓以上	一日金四十圓以上
消防手	十圓以上	五十圓以上	一日金三十圓以上

看護婦(數名)急募ス

希望者ハ履歴書持本人來院ノ
コト
九月六日 平市十丁(電話六四一)番
平 病 院

魁文堂

忠孝便箋 文鳥便箋 名作讀本
電三三三

農業

種子撰擇 (三)

紫雲英の 農試本場天辰生

これは成熟の温床によつて左右されるために早い花は一ヶ月もかゝつて成熟するが末期に達すると云ふ様な差が出て来るのである。

一、種子はどれ位の程度で發芽するか、

一般に作物の採種時期は早刈、適期刈、晩刈の三つに大別した場合には適期に刈り取つたものが最も好ましいことは云ふまでもないことである故に紫雲英についても開花期から一ヶ月を経て全体の莢の六、七割が變色した頃を刈取期とする様定められてゐるが實驗の結果からすると種子の發芽能力はつと早く出来るもので開花後十五、六日目頃の種子でも發根する力をもつてゐることが認められてゐる。今から十二、三年前關西地方に於て若種式稲作法を唱へて天下の注目を集めた人があつた、これは穂の穂揃へ後二十日位で翌年の種子用として刈り取り、穂先七分位を取り陰乾して水洗ひによつて撰別し、翌年の種子に供する時は二割の増收を得ると云ふのである、然し之も穂先の粒は早く成熟するといふ稲の性質を前提としたものであつてまだ乳熟期に在る穂を翌年の種子に供して増收すると云ふが如きものではないのは勿論である、たゞ晩くまで置くこと早く登熟したものが過熟になり種子として不適であると云ふ見地からその反對が強調され

たものと思はれる。
◆一般印刷物も
納引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平市 田町
用命は

看護婦
急派の求め
に應じます
と看護婦
電話三〇七

デーリーサービス

品名	目録	品名	目録
月カツレツ	三	チキン	三
火ポイ	三	子井	三
水エビ	三	ハヤシ	三
木フライ	三	オム	三
金コロッケ	三	ハム	三
土ポテト	三	ライス	三
日ラン	三	ライス	三

特にマルチモのランチは...
材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来まますので御華客様からいつも御好評を戴いて居ります。

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ
電話二三三

内科、小兒科
高久病院
院長 醫學士 高久忠
電話五二二三番

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
電話二五八番

漢方 生公華
肺炎、肋膜炎、氣管炎、扁桃腺炎、神経痛、口炎、マニ、關節炎、中耳炎、骨膜炎、腰痛、頭痛、打身、くも膜下出血、打撲、火傷、凍傷、傷、切傷、有リ



山野邊藥局
平市 五丁目角

齋藤齒科醫院
平市田町(藤田女學校前)
東京齒科 齋藤賢三
診療科目: 口腔外科、補綴科、保存科、齒列矯正科、小兒齒科、(其他齒科一般)
毎日晝夜診療 日曜午後休み

平病院 (平市元共濟病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 院長 醫學博士 鈴木定藏
産婦人科 部長 醫學士 池谷宗三郎
皮膚泌尿器科 部長 醫學士 鈴木定藏
物理療法科 技師 岡田重徳
藥劑科 部長 藥劑師 吉本幸平
診療時間: 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此限にあらす)
往診隨時、病室完備 (自炊の便あり)

スヘインG・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
熟練の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舗 (電3)

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

サロシ
町田平 二五三電

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」